
ドラえもん のび太のバイオハザード イレギュラーな者たち

ゼクセル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラえもん のび太のバイオハザード イレギュラーな者たち

【Nコード】

N9652Y

【作者名】

ゼクセル

【あらすじ】

突然現れた黒いコートの男を追いかけたら、異世界へと飛んでしまった星也。しかし、運悪くゾンビだらけの街にきてしまったのだ。果たして星也はこの街を脱出することが出来るのか！？ちなみに、この作品は僕のデビュー作です。そして、文才0です。超駄文です。だから、暇で死んでしまうときにでも読んでいただけたら光栄です。あと、この作品はマイナーなもの、メジャーなもの、コラボするかもしれませんが。コラボすると超駄文がさらに酷くなる可能性大です。その時はなるべく温かい目で見てください。

第1話 異世界（前書き）

初投稿です。 よろしくお願いします。

第1話 異世界

皆さん、こんにちは。僕の名前は才川星也です。まあ、自己紹介はこれくらいにさせてもらいます。え、なぜかって？なぜなら、現在暴徒化した民間人に追いかけていますから。まるでホラー映画やホラーゲームにでてきそうなものです。そもそも、なぜこうなってしまったのでしょうか？少し時間をさかのぼって見ましょう。

確か、僕は夏なのに真っ黒なコートを着ている男を怪しいと思い追いかけてました。そして、その後その男は……そうだ！黒い渦を空間に作り出してその中に入っていたんだ！僕はその中に興味本位で入って……気がついたら此処にいたんです。それで、あの暴徒化した民間人が出てきて襲いかかってきたから逃げて……現在に至ります。

星也「畜生——！どうなってるんだこの街——！？」

星也は声が街中に響いた気がした。

第1話 異世界（後書き）

意見、感想お待ちしております！

第2話 倉庫（前書き）

今回もよろしくお願いします。 星也の能力がほんの少し出てきます。

第2話 倉庫

ずっと逃げてるのが嫌になった星也は倉庫らしきところへ隠れるようにして入った。

星也「とりあえず必要になりそうなものを探しましょう。」

星也は倉庫の探を始めた。すると、

星也「これは…ハンドガン！？しかも外国産のブラックテイルだ。どうしてこういったものが…？」

星也は日本にあるはずのない外国産の銃を見つけ、驚いている。なぜあるのか疑問に思ったが、

星也「ま、いいか。この状況では持っていたほうがいい気がします。」星也はとりあえずハンドガンのことについて考えるのをやめた。

結局、その後はハンドガンの弾、非常食もちろんのこと、ゾンビ（今の星也にとつての暴徒化した民間人）のお出迎えである。

星也「人は殺したくないが…仕方がない！正当防衛です！」

そう言つてどこから出したのか手には刃のついた銀と赤色のチャクラムが握られていた。そして、星也はそれを持ってゾンビ達にむかつていくのであった。

第2話 倉庫（後書き）

次回は星也のプロフィールです。引き続き意見、感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9652y/>

ドラえもん のび太のバイオハザード イレギュラーな者たち

2011年11月29日17時53分発行